

2022年度

足立区 保育研修報告

幼児教育研修（年齢別担任研修2歳児 第1回）

受講者数 93名

日時 令和4年5月25日（水）15:00～17:00

場所 西新井文化ホール

講師 彰栄保育福祉専門学校 専任講師 山梨 有子 氏

【内容】～子どもの発達と保育者の関わりについて～

保育者は子どもが何に興味・関心をもっているのかを理解し、保育のねらいに繋げていくことが大切です。2歳児クラスまでに五感を使うことを意識した遊びをたくさん取り入れることによって子どもたちの経験が豊かになります。



【受講者の感想】

* 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

- ・3歳までは叱ることなく愛情深く育てるために、叱る必要のない環境を整えていくことが必要であると学んだ。
- ・五感を使うことを意識した遊びをすることで子どもたちの経験が豊かになることを学んだので、取り入れていきたい。
- ・他園の話聞いて、共感できたり、疑問に思っていた子どもの行動の意図を知ることができ、学びが深まった。
- ・服の着脱や靴を履く際には時間をたっぷり取り、やり方のコツを教えながら子どもたちが「やってみよう」と思えるように関わっていきたい。
- ・保育室内を走り回ったり、棚に登ったりしてしまう姿がみられることがあった場合は（体を動かしたい、保育者に注目してほしい）等、子どもの行動の真意を考えることが大切だと学んだ。目の前の子どもたちに適した環境や関わりをしっかりと考えていく必要があると改めて感じた。
- ・他園での遊びや子どもの姿を聞くことができ大変参考になった。小規模園だが、「小さい園だからこれはできない」ではなく、「こうすればこんなこともできる」に変えられるように工夫していきたい。
- ・どうしても日々の保育の中では、「あの子にはこんな経験をして欲しい」や「こうなって欲しい」というような、保育者の意図や願いが先回りしてしまいがちで自分もそうになってしまう。しかし、大切なのは子どもの興味・関心を知りその時の育ちを踏まえること、その育ちを支える中で保育者の意図、願いにつなげることなのだと学んだ。